



# 意志決定、合意形成に関連する 3つのトピック(手法)の紹介

平成21年6月27日

大阪産業大学  
吉川 耕司

# 話題提供の意図

LRTと関係ないじゃん！

現状：事業化に向けての動きの見直し？

想定：市民との対話には少しは舵を切る？

市民側に、意志決定・合意形成の責任が発生

具体的なプロセス、  
組織の提案

情報の取得  
(調査の必要性)

意志決定と判断  
のプロセス、方法

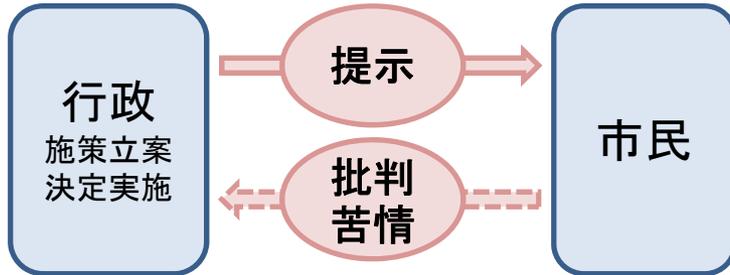
意見の集約、調  
整機能が必要

何に賛成で何に反  
対か？(切り分け)

代表性があるか？  
正しい結論か？

# 「コミュニケーション型」行政

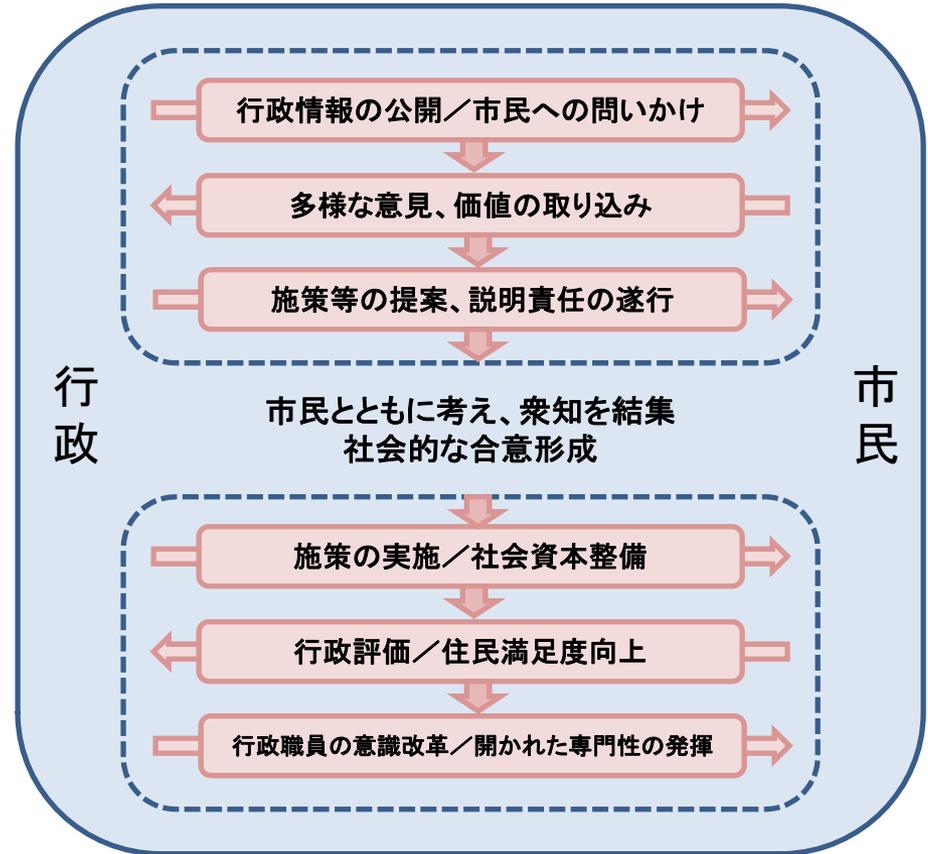
## ● 「提示型」の行政



### 計画段階でのパートナーシップ

- 今まで行政が基本的な案を作成し、それを住民に説明し、説得し、理解を求め、協力してもらうというプロセスだった。
- さまざまな問題が続出し、なかなか住民に納得してもらえず、行政と住民の対立という関係になりがち。
- プランの必要性そのものについても議論をし、プランが必要ならば、どういうやり方でプランを選択していくか、評価の方法をどのようにするかといった計画以前の段階から、関係する住民に参加してもらう。→PI、社会実験

## ● 「コミュニケーション型」の行政



「住民合意形成」

# 問題の複雑さ(未整理)

## ビジョン

まちづくり

誇り  
観光

交通体系

シンボル

今のままでよい  
↓  
アクションおこす

方向性?

都心が生活圏か否か

地域による違い

LRT沿線と南区・美原区

## LRTと自動車交通

「限られた道路空間に路面電車を導入すると、その分だけ自動車交通が制約を受けるという**必然性**を地域社会が受容できるかどうかポイントとなる」

大小路沿いか否か

業種による違い

補償、代替スキーム

外寄せ

交通施策

## 立場とジレンマ

自らの仕事

自らの生活

あるべき姿

今の自動車交通状況の延長線上でいく

総論と各論

ウエイト

LRTを導入し他の交通機関との連携のもとで公共交通中心の都市交通政策を推進する

二者択一の議論→連携・補完

「シャトルバス」ではダメな理由

具体的イメージ  
確約・担保

未来に対する  
不確実性

選択、決定

# 3つの合意形成、意思決定に関する研究

CGによる具体整備イメージの提示と  
合意形成の進展度との関係

住環境整備に対する  
住民意向の集団力学的分析

戦略的選択アプローチ

# 3つの合意形成、意思決定に関する研究

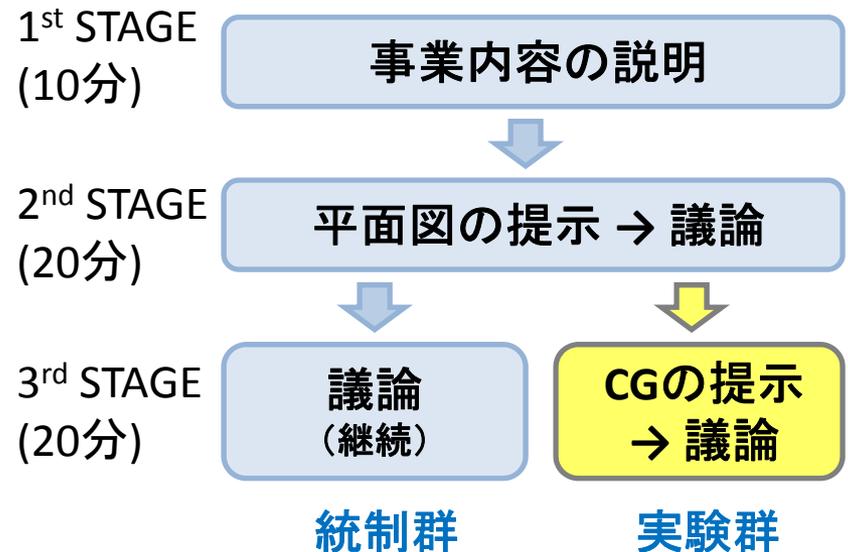
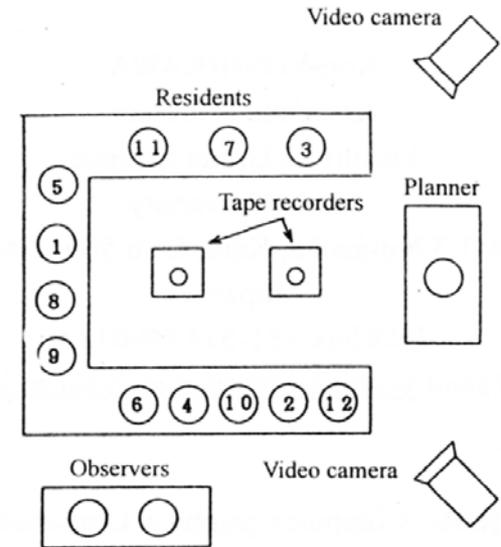
CGIによる具体整備イメージの提示と  
合意形成の進展度との関係

住環境整備に対する  
住民意向の集団力学的分析

戦略的選択アプローチ

# 実験の概要

- 対象とする事業
  - 大規模施設整備に伴う300m道路区間の整備
  - 代替案： 両面通行と一方通行
- 方法
  - 住民説明会を想定
  - ロールプレイ(役割演技)実験
  - 発言の機能と内容の分析
  - 実験群と統制群の比較
    - 統制群： 平面図のみを提示
    - 実験群： 平面図とCGを提示



# 提示した情報

• 統制群  
(Control Group)

- 実験群  
(Test Group)

A plan for two-way traffic    A plan for one-way traffic

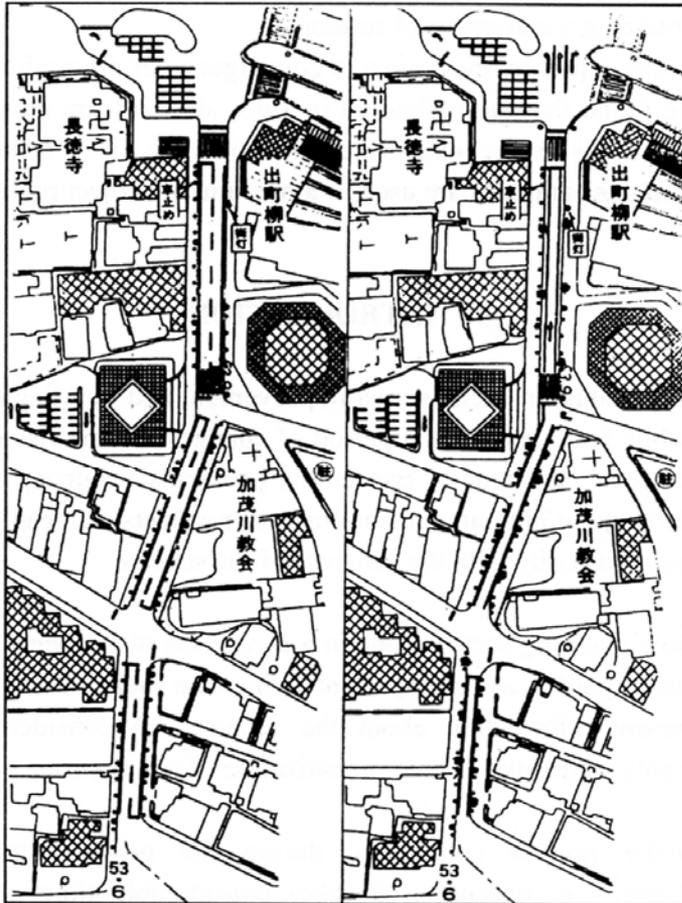
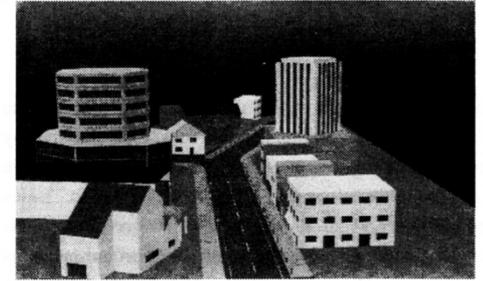


Figure 3 Ground plans presented during meetings

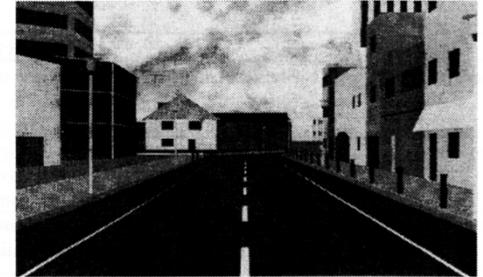
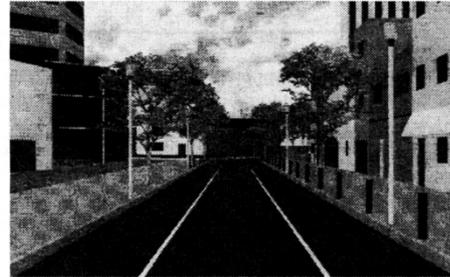
A plan for one-way traffic

Overlook

A plan for two-way traffic



View from a west side of the object area to the east



View from a west side of the object area to the east

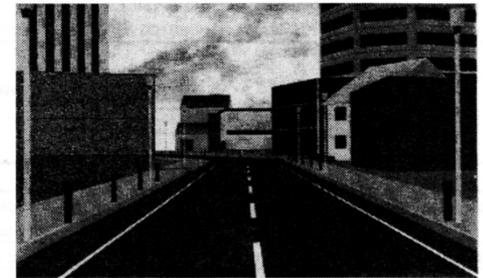
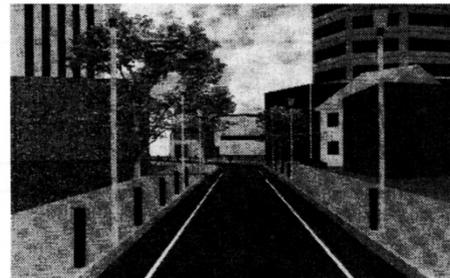


Figure 4 Computer graphics presented during meetings

# 分析結果

機能カテゴリ		正反応 Positive reaction	応答 Response	疑問 Interrogative	負反応 Negative reaction
Control Group	1 <sup>st</sup> stage	4%	25%	67%	4%
	2 <sup>nd</sup> stage	0%	17%	77%	4%
	3 <sup>rd</sup> stage	0%	24%	65%	13%
Test Group CG提示	1 <sup>st</sup> stage	0%	13%		0%
	2 <sup>nd</sup> stage	6%	53%	42%	0%
	3 <sup>rd</sup> stage	18%	35%	45%	5%

Table 4 Changes in matching functional categories at each discussion stage

肯定的  
意見の  
増加

疑問の  
解消

否定的  
意見の  
増加

内容カテゴリ		Traffic	Communal buildings	Roads	Finance	Project period	Administrative issues	Town environment	Other
Control Group	1 <sup>st</sup> stage	28%	12%	8%	16%	0%	12%	0%	24%
	2 <sup>nd</sup> stage	12%	37%	20%	13%	4%	11%	1%	3%
	3 <sup>rd</sup> stage	20%	1%	31%	12%	0%	1%	13%	21%
Test Group CG提示	1 <sup>st</sup> stage	14%	43%	29%	14%	0%	0%	0%	0%
	2 <sup>nd</sup> stage	19%	27%	27%	8%	4%	0%	0%	15%
	3 <sup>rd</sup> stage	3%	28%	46%	3%	0%	18%	0%	0%

Table 5 Changes in matching comments categories at each discussion stage

交通処理  
に関する  
疑問の残存

検討対象  
への  
フォーカス

具体的施策  
に関する  
意見の増大

議論の  
分散

# 3つの合意形成、意思決定に関する研究

CGによる具体整備イメージの提示と  
合意形成の進展度との関係

住環境整備に対する  
住民意向の集団力学的分析

戦略的選択アプローチ

# 意向グループの設定

- 題材：密集市街地の整備
- 意向グループの設定

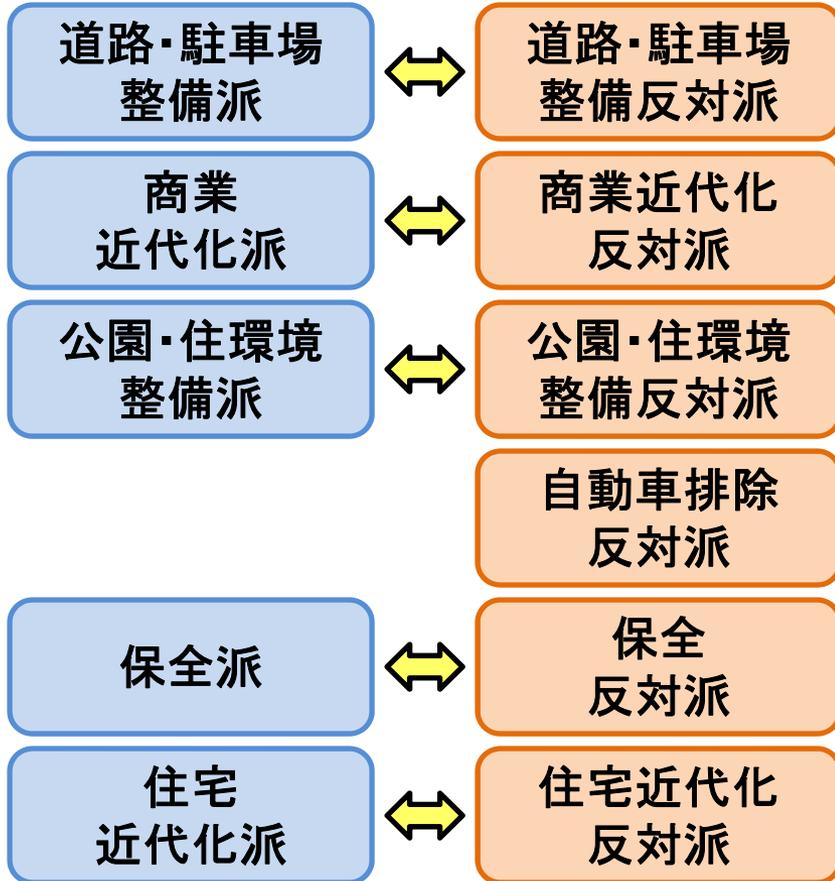


表3-1 整備方策に関する設問内容と略名

	略名	設問内容
住宅について	高層建築や土地利用の規制	戸建住宅を中心とした良好な環境となるように高層建築や土地の使いみちを規制する
	建築規制の緩和	狭い土地でも3階建などが建てられるように建築の規制を緩和する
	共同で中層住宅	数件の住宅が集まって共同で3、4階建の住宅につくりかえる
道路について	高層マンション	多くの人が住めるように古い小規模な住宅を集めて、高層マンション・アパートに建替える
	2車線歩道付道路	2車線歩道付程度の車が走りやすい道路を地区内につくる
	路地・曲り角の拡張	車が通りにくい路地や曲り角を広げて通りやすくする
	自動車の速度抑制	まちの中では車がゆっくりでないと走れないように、道路に工夫をして安全にする
	昼間、自動車通行禁止	昼間自動車を通行禁止にして安全にする
まちの緑について	路上駐車取締り・住民管理	路上駐車をなくすように、取締まりや住民による管理などを強化する
	街路樹を植える	車道を狭めてでも街路樹を植えるようにする
	家の花や緑が見える	助成などを行なって、多くの家で道から花や緑が見えるようにする
	公園やちびっこ広場をつくる	転出者の土地をできるだけ買収して、小さくても公園やちびっこ広場をつくる
駐車場について	大きな公園をつくる	憩いの場となるように大きな公園をつくる
	住民用駐車場	駐車場ビルや地下駐車場をつくって、住民用の駐車場を多くする
	買物客用・事業用駐車場	駐車場ビルや地下駐車場をつくって、買物客や事業用の駐車場を整備する
	住居駐車場の建築規制緩和	各戸ごとに駐車スペースをもてるように建築の規制を緩和する
まちの活性化について	路上駐車規制緩和	パーキングチケットの制度などを導入することによって路上駐車規制を緩和する
	商業中心をつくる	大規模店舗やレジャー施設を誘致して商業中心をつくる
	オフィスビルをつくる	大規模なオフィスビルをつくる
	共同ビル化・近代化	古い商店をまとめて共同ビル化したり、建替えをして近代化する
	昔ながらの商店を守る	昔ながらの親しみやすい雰囲気のある商店街を守るようにする
まちづくりについて	閑静な住宅地にする	商業ビルやオフィスビルなどを規制して閑静な住宅地にする
	道路や公園を新しくつくる	大半の家を建てかえるなどして、道路や公園を全く新しくつくり直す
	まちの一部の近代化	まちの一部だけで近代的建物を建てて核づくりをする
	家や道路を残す	今の家や道路の形をできるだけ残すようにする

# 意向グループと住民特性

## ● 意向グループの住民特性

表3-3 意向グループの住民特性一覧

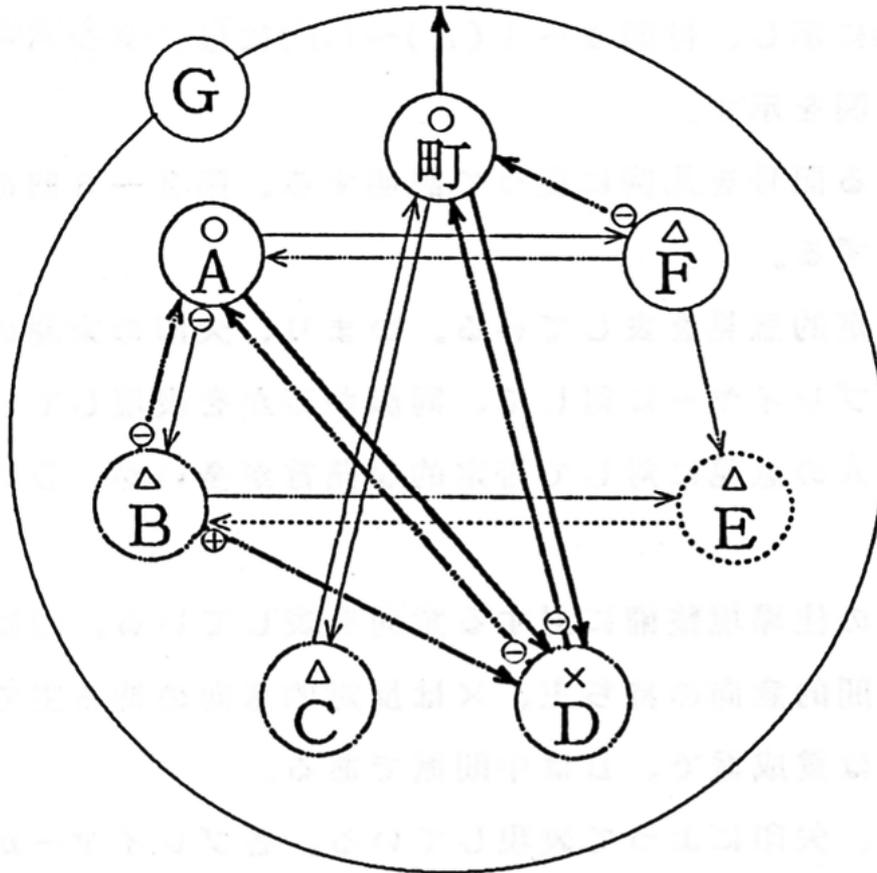
意向グループ	年齢性別	勤務地・職業	運 転	居住地区	居住形式	前面道路幅	定住希望	同居・近居
道路・駐車場整備派	多	△地区その他				△2m未満		
	少	▲地区自営				▲2m以上		■その他
道路・駐車場整備消極派	多	△老年 □青年女 ○地区外	○しない	△海老江	□借地持家	△2m以上		
	少	■青年男 ■壮年女	▲地区その他	●する	▲吉野	▲2m未満		
商業近代化派	多	○地区自営		○吉野	△借地持家		△なし	○地区内へ
	少	▲壮年女	●地区外 ▲地区その他		●海老江 ▲野田		▲あり	▲現在のまま ▲その他
商業近代化反対派	多	□青年男			○野田 △海老江			△その他
	少				●吉野			▲現在のまま
	多	□青年男	△地区外		○野田			

## ● ロール(代表住民)の設定

表3-6 ロール(代表住民)の一覧

NO	番号	意向グループ名	性別	年齢	職業	住居の形式	敷地	道路幅	整備方策の賛否
1	12089	道路駐車場整備派	男	50才	会社員	長屋(1万円) 木造 2階建て	10.5坪	3m	共同建て替え・土地区画整理・再開発・建築協定、全てにおいて条件しだいで賛成である。
2	33092	反道路駐車場整備派	男	60才	会社員	一戸建 木造 2階建て	22坪		共同建て替え・土地区画整理・再開発・建築協定、全てにおいて反対である。
3	32070	商業近代化派	男	40才	商店主	一戸建 木造 2階建て		3m	共同建て替え・土地区画整理・再開発・建築協定、全てにおいて条件しだいで賛成である。
4	13144	反商業近代化派	男	28才	会社員	一戸建 木造 2階建て	10坪	3m	共同建て替え・再開発には反対しているが、建築協定には条件しだいで賛成である。
						アパート(7万)			共同建て替え・土地区画整理・再開発・建築協定

# 会議におけるメンバー機能構造



⊕	肯定的な意見
⊖	否定的な意見

○	賛成派
△	中間派
×	反対派

機能	強	弱
T	————→	————→
M	.....→	.....→
I	————→	————→

T機能	M機能
○	⊙
I機能	なし
○	○

図4-1 第1回ロールプレイのメンバー機能構造

# メンバー機能

T  
課題達成機能  
(Task Function)

M  
集団維持機能  
(Maintenance Function)

I  
個人主義的機能  
(Individual Function)

機能	具体的機能	意味説明
課題達成機能 (T)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 口火を切る</li> <li>2, 情報を求める</li> <li>3, 情報を与える</li> <li>4, 意見を求める</li> <li>5, 意見を述べる</li> <li>6, 吟味する</li> <li>7, 関連づける</li> <li>8, 方向づける</li> <li>9, 評価する</li> <li>10, 促進する</li> <li>11, 要約する</li> <li>12, 記録する</li> </ol>	<p>話題を選択したり、課題を設定する</p> <p>課題に対する質問をする</p> <p>課題に対する質問の回答をする</p> <p>人を指名したりする</p> <p>考え方の基本を示す</p> <p>人の意見などを吟味する</p> <p>人の意見同志の関連をつける</p> <p>議論の方向を示す</p> <p>意見の良否を判断する</p> <p>賛同して薦める</p> <p>意見を取りまとめる</p> <p>意見を整理して記録する</p>
集団維持機能 (M)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 励ます</li> <li>2, 調和をはかる</li> <li>3, 門番役をする</li> <li>4, 基準設定をする</li> <li>5, 支援する</li> <li>6, 譲歩する</li> <li>7, 観察する</li> </ol>	<p>安心させる</p> <p>集団の雰囲気や和ませる</p> <p>AとBは違っているが、共通点もあるなどと指摘する</p> <p>集団らしさ、集団が従うべき基準を述べる</p> <p>応援する</p> <p>発言を相手に譲る</p> <p>人の言うことをじっくり聞く</p>
個人主義的機能 (I)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 邪魔をする</li> <li>2, 攻撃する</li> <li>3, 人の注意を引く</li> <li>4, 持論を固執する</li> <li>5, 自分のカラに立てこもる</li> <li>6, 人を見下したり支配する</li> <li>7, 怠ける</li> <li>8, 他人に寄りかかる</li> </ol>	

# 分析結果：住民構成と合意形成の進展度

- 中間的M機能が1名の場合は、効果的なM機能が発揮されずに、集団の分化や孤立が生じ、合意形成は困難な雰囲気となった。
- 賛成的M機能が1名の場合は、T機能に移行する傾向が見られ、集団としては「行き詰まり状態」に陥った。
- 賛成的M機能が2名の場合は、効果的なM機能が発揮されて、合意形成への望みをつないだ。
- 複数の賛成的M機能の働きが、合意形成への鍵となり、彼らがキーパーソンとなりうることが確認できた。

# 3つの合意形成、意思決定に関する研究

CGによる具体整備イメージの提示と  
合意形成の進展度との関係

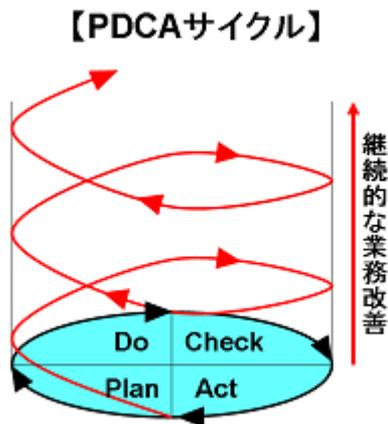
住環境整備に対する  
住民意向の集団力学的分析

戦略的選択アプローチ

# SCA (Strategic Choice Approach)

- 計画を連続したプロセス、つまり時間の経過に応じて戦略的に選択していくプロセスと見るもの
- 実際にSCAが適用された骨の折れる問題の殆どは組織内にせよ、組織間にせよ、集団的意思決定を要するもの
- イギリスの主要都市コベントリーの市議会における研究プロジェクトによる成果
- 人々はそれぞれ直面している問題の構造について異なったしかも絶えず変化しつつづける考えを持っている
- 彼らは目前の問題にたいして理論的には広範で総合的な立場で対応しようとしても、漸進的で断片的なやりかたで行動を起こさざるを得ない圧力が存在する
- 時間の経過を伴う意思決定に際して緊急性と不確実性のバランスを取らなければならないジレンマが常に存在する
- 決定プロセスにおいて技術と政治の区別をつけることの難しさが常に存在する
- 何らかの決定をおこなわなければいけないが、どのような行動をとるべきかが明確ではない
- 三つの不確実性
  - UE: 作業環境に対する不確実性(調査)
  - UV: 価値観に関する不確実性(政策誘導)
  - UR: 関連分野の意志決定に関する不確実性(調整)

# SCA(選択的戦略アプローチ)とAIDA手法



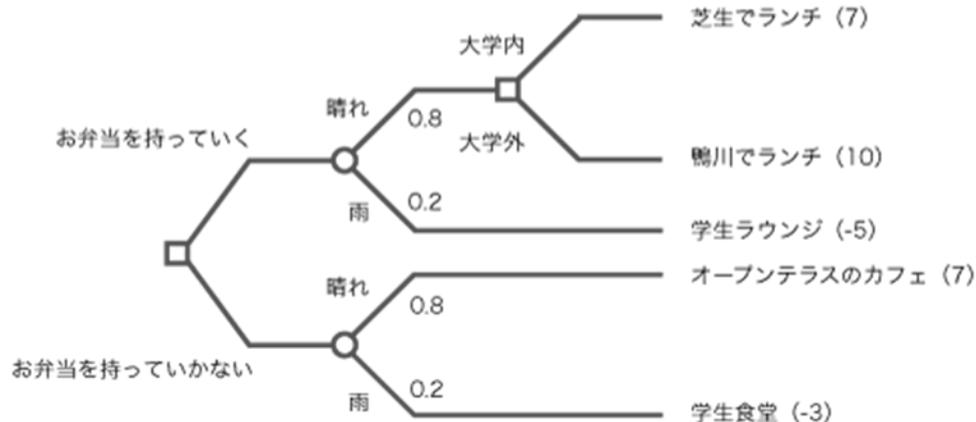
- 緊急性と不確実性を吟味。
- 現在とり得る行動を決定し、不確実性を解消する必要性が高い項目を明確化。
- とり得る行動パターンを明確にし、コミットメントパッケージ(連続的な計画プロセスのなかのある時点においてそれぞれの意志決定領域で当面どのように対応するかを表示するもの)を作成する。

## AIDA手法

- デシジョンツリーの作成を支援
- **オプションバー**を作成する手法
  - 両立不可能な組み合わせを明確にする
- 決定スキーム
  - 各意思決定領域の中から1つずつのオプションを、オプションバーの引かれたペアを含まないように選択し、それらを結合していく

テーマ  
明日、お弁当を持っていくかいかないか

- 決定ノード：意思決定者がコントロールできる変数
- 確率ノード：意思決定者がコントロールできない、自然や他者、偶然によって変化する変数
- 結果ノード：結果の価値を示す最終点 (カッコ内は数値化された価値)



# 3つの合意形成、意思決定に関する研究

## CGによる具体整備イメージの提示と合意形成の進展度との関係

- 情報(特に具体イメージ)の共有が、議論を進展させる。

## 住環境整備に対する住民意向の集団力学的分析

- 合意形成の進展には「場」が影響する。

## 戦略的選択アプローチ

- 今決定すべきことと、将来にしか決めることのできない問題が存在する。